

## 4. 空き家問題をテーマとした演劇公演『サヨナラ、我が家。』と パネルディスカッションを開催します

近年、少子高齢化や人口減少などにより空き家数が増加しており、社会問題となっています。本市においても、空き家の解消や増加抑制に向け、「大分市住み替え情報バンク」での空き家情報提供や相談会の開催等の取組を行っています。

このような中、市民に空き家問題を身近に感じてもらい、空き家になる前から考えてもらうため、市を拠点に活動している「劇団水中花」と連携し、空き家をモチーフとした演劇公演とパネルディスカッションを開催します。

空き家問題について行政と劇団が連携して行う公演は全国で初めての取組です。

### 1. 空き家問題の現状

総務省が行った「平成30年住宅・土地統計調査」では、空き家数は846万戸で全国の住戸の13.6%を占め、過去最高となっています。

本市の状況としては、平成27年度に行った大分市空家等実態調査の結果、空き家等と判断したものは3,138件となっています。

### 2. 本市の空き家対策への主な事業

#### (1) 大分市住み替え情報バンクによる空き家等の情報提供

市内の空き家・空き地の売却や賃貸を希望する所有者などから寄せられた物件を紹介し、空き家・空き地の利用を希望する人に情報を提供しています。対象を市内全域に拡大した平成27年度以来、延べ148件登録され、これまでに105件成約しています。

(9月30日現在)

#### (2) 「大分市空家等相談会」・「空き家相談出張窓口」の開催

空き家の管理や利活用について専門家が一堂に集まり、空き家の所有者・管理者から相談を受ける「大分市空家等相談会」を年4回、住宅課窓口以外で市職員が空き家問題全般について市民の方々から広く相談を受ける「空き家相談出張窓口」を毎月第3木曜日(年12回)に開催しています。

#### (3) 大分市老朽危険空き家等除却促進事業

老朽危険空き家の除去費用を補助しています。今年度からは補助率1/2、補助限度額100万円として制度を改め、老朽危険空き家等の除却を促進しています。昨年度は16件の補助を行いました。

### 3. 演劇公演『サヨナラ、我が家。』・パネルディスカッション

<b>日 時</b>	<b>&lt;演劇公演&gt;</b> 1 2月7日(土) ①午後2時～ / ②午後7時～ 1 2月8日(日) ③午後1時～ 計3回公演 (※開場は各30分前) <b>&lt;パネルディスカッション&gt;</b> 1 2月8日(日) 午後2時45分～(1時間程度) ※パネルディスカッションの開催は1回のみ
<b>場 所</b>	J:COM ホルトホール大分1階 小ホール
<b>内 容</b>	<b>&lt;演劇公演&gt;</b> 『サヨナラ、我が家。』～「この家に、生きた。生きた家に、いた。」～ これまで自分を育ててくれた我が家が空き家になりつつある現状を目の前にして、家族それぞれの視点と心情を演劇により表現します。 <b>&lt;パネルディスカッション&gt;</b> テーマ “空き家にしないために、今、家族が考えなければならないこと” ファシリテーター(進行役) 池本洋一 氏(不動産・住宅情報サイト『SUUMO』編集長 SUUMOリサーチセンター長) <b>パネリスト</b> 日下 渚 氏(劇団水中花代表) 松尾 修二 氏(NPO法人 空き家サポート大分理事) 宇津木 基 氏(NPO法人 空き家サポート大分会員・弁護士) 広瀬 淳三(大分市土木建築部 部長)
<b>定 員</b>	各公演 200人
<b>観 劇 料</b>	前売 一般1,500円/高校生以下1,000円 ※当日券は各500円増 ※12月8日公演終了後のパネルディスカッションは無料 <チケット販売場所> J:COM ホルトホール大分、トキハ会館3階プレイガイド
<b>主 催</b>	演劇公演「サヨナラ、我が家。」実行委員会
<b>共 催</b>	大分市

#### 《参考》

##### 劇団水中花

平成18年より演劇ユニット水中花として活動し、平成24年に劇団水中花と改名。代表者日下渚氏をはじめ現在9名の団員で構成されている。主に日下氏が脚本・演出を手掛けたオリジナル作品の上演を積極的に行っており、現在、大分市を拠点に活動している。

【住宅課 内線1776】